

官報

號外

明治四十年一月二十三日

水曜日

印刷局

第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第三號

明治四十年一月二十二日(火曜日)午後一時六分開議

議事日程 第二號 明治四十年一月二十二日 午後一時開議

- 第一 事業公債條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 帝國大學特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 學校及圖書館特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十三 韓國森林特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十五 韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 議長(杉田定一君) 補缺選舉ノ結果ニテ當選セラレタル議員デ、今回初メテ登院ニナタ御方ガアリマスデ、之ヲ紹介致シマス、紹介セラレタル議員ハ起立ヲ望ミマス——
香川縣郡部選出議員中西孫太郎君
(中西孫太郎君起立ス)
(拍手起ル)
- 議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲシマス
(書記朗讀)
一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治四十年度歳入歳出總豫算案並明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件
一昨二十一日西園寺內閣總理大臣ヨリ左ノ通り政府委員任命相成リタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

政府委員被仰付

內務省所管事務政府委員被仰付

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

外交ニ關スル質問

右成規ニ據リ提出候也

明治四十年一月二十一日

提出者 望月小太郎

贊成者 尾崎 行雄

外六十九名

外交ニ關スル質問

今や舉國一致ノ力ニ賴リテ發展シ來レル戰後經營ノ目的ヲ全フスルニ當リ政府ガ其締盟諸國中トノ外交事件ニ關シ其交渉經過並ニ前途ノ方針等ハ須ク國民ヲシテ單ニ之ニ賴ラシムルノミナラズ務メテ之ヲ知ラシムベキハ惟フニ立憲ノ本義ニシテ亦政府ノ曷ムベキ職責ナリト信ズ本員ハ左ニ現內閣ノ成立以來其外交問題中今猶ホ未決ニ屬スルモノ、重要事件ヲ列記シ之レニ關シ政府交渉ノ顛末其經過併セテ前途ノ方針中說明シ得ベキモノハ速ニ之ニ向テ詳細ナル答辯アラントヲ望マンガ爲メ茲ニ質問書ヲ提出セル所以ナリ

一 桑港事件ノ顛末

千八百九十五年締結セル日米兩國通商及航海條約第一條ニ賴レバ「兩締盟國ノ臣民ハ他ノ締盟國ノ領地ニ於テ其臣民ト同一ナル特權自由及ヒ各種ノ權利ヲ享受スヘキ事」ヲ明記セリ然レニ米國ノ一州カリフォルニアノ桑港市ニ於テハ去ル十月中旬以來我在留同胞ノ子弟其小學校ヨリ驅逐セルノミナラズ邦人ニ對シ幾多ノ暴行ヲ逞フシツ、アルハ明カニ前記條約ノ明文ニ違反スルモノナリトス勿論該事件ニ關シ米國大統領ルースベルト氏ガ嚴正ナル敎書並ニ公平ナル米國ノ輿論ハ常ニ日本國民ヲ敬愛シ並ニ其條約上ノ權利ヲ尊重スルニ盡力シツ、ア

ルハ亦深く日本國民ノ諒トスル所ナルモ本件ニ關シ彼我當局者間ニ交渉中ノ經過並ニ其顛末果シテ如何

二日露通商條約並ニ漁業權交渉ノ經過

日露通商條約第十二條ニ依リ兩締盟國ハ相互ニ最惠國ノ待遇ヲ與フル方法ニ關シ日露通商航海條約ヲ締結スヘキ事ヲ約シ其第十一條ニ於テ露國ハ日本海ヲコック海及ベリリシグ海ニ瀕スル露國領地ノ沿岸ニ於ケル漁業權ヲ日本國民ニ許與スヘキ協定ヲナス事ヲ約セリ願フニ右條約ヲ締結以來既ニ一年有餘ヲ經タリ之ニ關スル政府交渉ノ顛末如何

三樺太ニ於ケル露人漁業權ニ關シ日露交渉ノ顛末

日露通商條約第十條ニ依リ日本國ハ露國ノ讓與地域ニ於ケル住民ノ財產權ヲ完全ニ尊重スヘキ事ヲ約セリ然ルニ該地域ニ於ケル露人ハ其漁業權ヲ侵害セラレタリト號シ帝國政府ニ向テ損害ヲ要償シツ、アリト其事實ノ顛末並ニ政府ノ所見如何

四寬城子停車場問題交渉ノ顛末

日露通商條約ニ依リ露國ハ長春(寬城子)以南ノ鐵道及一切ノ權利ヲ我國ニ讓渡シタルニモ係ハラス其接續スヘキ停車場ノ地點ニ關シ露國ハ該條約中長春(寬城子)トノ文字中停車場ヲ含有ストノ文字ノ不備ヲ名トシ寬城子停車場ヲ我國ニ讓渡スルコトニ關シ躊躇スル所アルモノ、如シト聞ク其事實交渉ノ顛末果シテ如何

五大連稅關設置ノ件

滿國ハ營口ニ稅關ヲ設ケ以テ滿洲輸入貨物ノ稅率ヲ統一シ居レリ然ルニ我大連ヲ經テ滿洲ニ入ル地域ニハ稅關ノ設備ナキヲ以テ大連輸入貨物ハ勢ヒ營口輸入ノ貨物ト其稅率上ノ平均ヲ失フモノナリト列國人中ニハ往々日本ノ宣告セル門戸開放ノ誠意ヲ疑フモノ、如ク論難スルモノアリ之ニ對スル政府ノ所見及ヒ其準備ノ經過果シテ如何

六俘虜收容費受領ニ關スル顛末

日露戰役ノ結果露國ヨリ我國ニ受領スヘキ該收容費ノ受領額並ニ其方法ニ關シテハ既ニ兩國政府ニ於テ交渉決定シタルモノアリト其經過ノ顛末如何

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、西園寺內閣總理大臣

(內閣總理大臣侯爵西園寺公望君登壇)

○內閣總理大臣(侯爵西園寺公望君) 諸君、昨年本大臣が重任ヲ負ヒマシテ、此席ニ諸君ト相見テヨリ將ニ一年ヲ經マシタ、本日ハ茲ニ再ヒ諸君ニ向テ政府ノ所見ヲ陳述致シマスルハ、本大臣ノ光榮トスルコトコトゴザイマス、惟フニ昨年ノ議會ニ於キマシテハ、戰局僅ニ其終リヲ告ゲタカリテ、勿々ノ際ニ未ダ戰後ノ經綸ヲ立ツルニ至ラナカッタノデゴザイマス、爾來政府ハ孜々トシテ、是ガ企畫ヲ怠リマセヌデ、實ニ大戰爭ノ後ヲ承ケマシテ、經營施設頗ル錯綜ヲ極メテ居リマスルニモ拘ラズ、今ヤ諸般ノ畫策略ヲ緒ニ就キマシテ、茲ニ其梗概ヲ述ブルコトヲ得マスルハ、欣喜ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、蓋シ

二十二議會ニ於ケル諸君ノ公正ナル審議協贊ハ、即チ能ク政府ヲシテ幾多ノ施措ヲ遂行セシメタル所以デゴザイマス、本大臣ハ實ニ諸君ノ盡サレタルコトニ對シテ、深ク感謝スルノデゴザイマス、帝國ト英國ト同盟ハ倍々鞏固ニ、他ノ締盟列國トノ交際モ亦益々深厚ヲ加ヘマスルハ、本大臣ノ諸君ト共ニ慶賀スル次第デゴザイマス、露國トノ關係モ亦平和克復後親善ヲ恢復致シマシテ、通商條約漁業ニ關スル條約、其他俘虜收容費等ノ平和條約ニ基キ問題ハ、兩帝國ノ政府間ニ、互ニ誠意ヲ以テ協商ヲ進メツ、アルノデゴザイマス、又桑港ニ於ケル學童問題ニ就キマシテモ、我政府ニ在ッテハ適當ナル措置ヲ執リマシテ、米國政府ニ在ッテモ日米條約ノ規定ニ顧ミ、正義人道ニ依リテ大ニ斡旋スルコトコトゴザイマス、故ニ必ズ相當ノ解決ヲ見ルデアラウト考ヘマス、韓國トノ交誼ハ爾來益々密接ヲ加ヘマシテ、且ツ其指導發展ニ關シ、統監府ノ設置以來、著々其效果ヲ見ルハ悅ブベキ次第デゴザイマス、又滿洲ニ付キマシテモ、帝國ハ營口ノ還付ト共ニ軍政ノ撤廢ヲ了リマシテ、諸國ヲシテ協約ニ從フテ漸次滿洲開放ノ實行ヲ努メシメツ、アルノデゴザイマス、政府ハ租借地ニ關東都督府ヲ設置シ、又南滿洲鐵道株式會社ヲ創立シテ、鐵道ノ經營ニ當ラシムルコトニ致シマシタ、又大連港ヲ開放致シマシテ、滿洲ノ商業ニ就イテ各國共同ノ利益ヲ増進センコトヲ圖リマシタ、而シテ樺太ノ經營モ亦漸ク緒ニ就イテ參ツタノデゴザイマス、諸君、國力ハ宇内ノ進運ニ伴ヒ、是ガ發展ヲ努メネバナラスノデゴザイマス、國運ノ振興ハ寸時モ之ヲ緩ワスルコトガ出來ヌノデゴザイマス、是ヲ以テ政府ハ財政ノ許ス範圍ニ於キマシテ、教育上諸般ノ施設ヲ完ウセンコトヲ圖リマシタ、又交通機關、河川港灣、其他直接ニ產業ノ發達ニ資スル事柄ハ、努メテ改善ノ方法ヲ講ジマシタ、内ニ在ッテハ產業ヲ振興シ、外ニ向ッテハ貿易ヲ擴張スルノ方針ヲ執リマシタノデゴザイマス、明治三十七八年戰役ニ依リテ生ジタル軍備ノ缺損ヲ補充致シマシタ、又利權ノ振作、並ニ保護義務ノ擴張ニ伴ハネバナラス、軍備ノ充實ハ、急施ノ必要ガアルノデゴザイマス、又試ニ現行法律ノ範圍内ニ於テキマシテ、陸軍ノ兵役期間ヲ短縮致シマシテ、二年現役ノ制度ヲ取ルコトヲ計畫ヲ立テタノデゴザイマス、勿論是等ハ國力ト相俟ッテ其完備ヲ期セネバナラスコトデゴザイマス、故ニ、緩急順序ヲ較量致シマシテ、漸ク逐ウテ其目的ヲ達スル考デゴザイマス、現行刑法ハ明治十三年ノ制定ニ係リマシテ、爾來社會ノ事物幾多ノ變遷ヲ來シテ居リマス、其規定ノ現今ノ社會ノ狀態ニ適セヌコトモ甚ダ多イノデゴザイマス、今日ニ於テ是ガ改正ヲ爲スハ極メテ適切ノコト、考ヘマス、諸君、明治四十年度ノ豫算ハ、既ニ旨ヲ奉シテ議會ニ提出致シマシタ、其詳細ナル事項、並ニ既ニ提出セラレ、若クハ將來提出セラレベキ諸法案ニ就キマシテハ、本大臣又ハ主務大臣ヨリ隨時説明致シデゴザイマス、本大臣ハ諸君ガ此複雜ナル戰後ノ劃策ニ關シ、能ク政府ノ意ノ在所ヲ明カニセラレテ、協贊ノ任ヲ盡サレ、以テ國務ノ進行ヲ圓滑ナラシメ、國家ノ進運ヲシテ益々堅實ナラシメンコトヲ切望致シマス

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 阪谷大藏大臣

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 諸君、本大臣ハ茲ニ明治四十年度ノ豫算ニ就テ一言スルノ光榮ヲ有シマス、明治四十年度ノ豫算ハ、大戰役後ノ狀況ニ鑑ミマシテ、重キヲ國力ノ培養ニ措キ、諸般ノ計畫ヲ立テマシテ次第ニゴザイマス、コレ故ニ、明治四十年度ノ豫算ヲ編成スルニ付キマシテハ、新ニ増稅ニ關シマスルコロノ要求ヲ致シマセヌ、又鐵道、電話、製鐵事業等ノ如キ、生産ノタメニ必要ナルモノ、外ハ、公債ノ募集ト云フコトモ一切致サヌ方針ヲ執リマシタノデ、其他一般ノ經費ニ付キマシテモ、戰後種々ノ要求ハゴザイマシタナレドモ、是亦一般ニ節約ノ方針ヲ執リテ、豫算ヲ編成致シマシタ次第ニゴザリマス、併ナガラ前年度即チ三十九年度ニ於キマシテハ、戰爭後間モナイコトデアリマシタノデ、諸般ノ計畫ガ所謂一時的ニ互ツテ居リマシタ、即チ三十九年度ノ豫算ノ中ニハ、臨時事件豫備費ト云フヤウナ科目ガゴザリマシテ、先ヅ一時ノ計畫ヲ立テマシタノデゴザリマス、次ノ年度即チ四十年度ニ於キマシテハ、コレノ略、目的ヲ定メ整理致スベキモノハ整理ヲ致サナレバナラヌ必要ニ迫リマシテ、相當ノ計畫ヲ立テマシタ次第ニゴザリマス、又三十七年、三十八年——此戰爭中ハ軍費ノ急ニ應ズルガタメニ、各省共ニ事業ヲ收縮致シマシテ、或ハ既定ノ經費ノ如キモノヲ繰延ヘルト云フヤウナ譯デアリマシタノデアリマス、我國運ノ進歩ハ幸ニ戰爭中ト雖モ中止セズ、社會一般ニ進歩ヲ加ヘマシタガタメニ、四十年度ニ於キマシテハ、是迄緊縮シ來ツタモノヲ緩メ、又繰延ベタモノモ之ヲ復スルコト云フコトノ必要ナルト云フコトハ、御認ヲ願ヒタイ譯デアリマス、右ノ外ニ四十年度ニ於キマシテハ、多年ノ問題デアッタコロノ、河川ノ改良、又貿易ノ進運ニ伴ヒマシテ、港灣ノ改修、コレカラ又農工商業ノ獎勵、大學其他教育事業ノ擴張、鐵道、電話等ノ如キ交通機關ノ増設、又陸海軍備ノ充實、是等ハ戰後ノ狀態ニ應ジ相當ノ計畫ヲ立テマシタ次第ニゴザリマス、今既ニ御手許ニ廻ッテ居リマスルヲ繰返スヤウデアリマス、豫算ノ數字ノ大體ヲ申上ゲマス、四十年度ノ歳入ノ總計ハ六億千四百萬ト云フコトニ相成リマス、此中テ經常部ニ屬スルモノガ四億二千四百萬、臨時部ニ屬シマスルモノガ一億八千六百萬、之ヲ前年度即チ三十九年度ノ數字ト比較致シマス、經常部ニ於キマシテハ三千九百萬、臨時部ニ於キマシテハ、八千四百七十萬ノ増加デ、即チ合計ニ於キマシテ一億千六百餘萬圓ヲ増加致シテ居リマス、又歳出ノ總計ハ六億千四百餘萬圓デアリマシテ、其經常部ニ屬スルモノガ四億二千二百萬、臨時部ニ屬スルモノガ一億九千九百萬、之ヲ前年度ノ數字ト比較致シマス、經常部ニ於キマシテ五千九百萬、臨時部ニ於キマシテ六千六百萬、合セテ一億千九百萬圓ヲ増加致シテ居リマス、即チ歳入ト歳出トハ相平均致シテ居リ計算デアリマス、今之ヲ前年度ト比較致シテ見マス、歳入歳出共ニ何レモ多大ノ増加ヲ致シテ居ル譯デアリマス、其増加ヲ來シタル原因ハ、即チ本大臣ガ前段ニ申上ゲマシタ財政ノ計畫カラ生ジマシタ譯デアリマス、少シク細カナコトデアリマス、其増減ノ生ジマシタ大體ノ理由ヲ申上ゲマス、經常歳入ニ於テ増シマシタノハ、經濟界一般ノ景氣ノ宜シキニ伴ヒマシテ、所得稅、酒稅、織物消費稅、海關稅、郵便電信ノ收入等、何レモ増加ヲ示シテ居リマス、コレカラ前議會ニ於テ御協贊ヲ經シマシタ、鐵道國有法ニ依リテ買收致シマシタコロノ諸ノ鐵道ヨリ生ジマス利益金ガ、頗ル増加致スベキ見込デアリマス、是ガ經常歳入ニ於キマシテノ重ナル増加ノ原因デアリ

マス、又臨時部ノ歳入ニ於キマシテハ、公債ノ募集金ガ大ニ減シマシタガ、前年度ノ剩餘金並ニ臨時軍事費、特別會計剩餘金ニ於テ大ナル増加ヲ示シテ居ル譯デアリマス、右ハ歳入ノ増加致シマシタコロノ重ナル原因デアリマス、又歳出ノ増減致シマシタ理由ヲ申上ゲマシタ、此歳出經常部ノ増加ガ五千九百萬ノ増ト云フコトハ、非常ニ大キナ増ノヤウニ聞エマス、デアリマス、此五千九百萬ノ中デ、四千六百萬ト云フモノハ大藏省ノ部ニ増シテ居リマス、其他各省ノ部ニ於テ増シテ居リマス、デアリマシテ、其大藏省ノ部ニ於キマシテ、何ガ故ニ此ノ如ク急激ノ増加ヲ必要トスルニ至ツタカト申スト、鐵道ノ國有ニナリマシタ結果、前申シマス通り歳入ニ於テモ増シマス、其歳入ヲ以テ買收致シマシタ鐵道ノタメニ、公債ノ元利ヲ拂ハナケレバナラヌ、コレヲ大藏省ノ國債費ノ方ヘ増シテ行ク、又戰爭ノ結果ト致シマシテ、恩給年金ト云フモノガ頗ル増加致シテ居リマス、又貿易ノ進歩工商業ノ進歩ニ連レマシテ、戻稅即チ海關稅ヲ一旦取ツテ工商業獎勵ノタメニ拂戻シマス、其戻稅ト云フモノガ非常ニ増加致シテ居リマス、是等ガ歳出ノ經常部ニ於テ大ニ増シマシタ原因デアリマス、コレカラ臨時歳出ノ部ニ於キマシテハ、前年度豫算ニゴザイマシタ臨時事件豫備費七千有餘萬ト云フモノハ、本年度ハ要求ヲ致シマセヌ、大イニ是ガ減シテ居リマス、其代リ各省ノ部ニ於キマシテ、前申シマシタ理由ニ依リマシテ段々増シテ居ルモノガ有リマス、コレハ河川ノ改良ニ關スル費用ガ一箇年三百萬圓ノ定額ニスルコト云フコトハ、屢々衆議院ノ議場ニ於テ現レタ説デアリマス、此度ハ其方針ヲ取リマシタ、初年ハ二百五十萬ト致シテゴザイマス、詰リ河川改良ノタメニ年額三百萬圓ヲ國庫ヨリ支出スルコト云フ計畫ヲ立テ、又ハ水道下水ノ補助、是モ一定ノ年額ヲ定メテ其範圍内ニ於テ施行スルコト云フ計畫ヲ立テマシタ、コレカラ神戸港ニ於ケル海陸運送連絡ノ設備ヲ爲シ、北海道並ニ沖繩縣ニ於キマシテ、港灣ノ修築ヲ致スト云フ計畫ヲ立テマシタ、又農事及ヒ、工業ノ改良發達ヲ計ルガタメニ、農商務省ニ於キマシテ、補助費ヲ増加スル、又諸君御承知ノ如キ大博覽會ヲ開設スルコト云フ豫算ヲ之ニ組入レマシタ、コレカラ大學其他ノ實業學校ヲ増設スル、電話ヲ擴張スル、鐵道ノ建設、及改良ヲ計ル、其外海軍ニ於キマシテハ、艦艇補充基金ノ繰入ヲ昨年ハ法律ヲ以テ一箇年延シマシタガ、四十年度カラ之ヲ繰入レルコトニ致シマシタ、其繰入レマスル金額ヲ以テ新ニ艦ヲ作ル、又陸軍ニ於キマシテハ滿洲ニ駐屯シテ居ルコロノ四個師團ノ中ニ一個師團ガ此方ニ戻リマシテ、サウシテ相當ナル軍備ノ充實ヲ計畫スル、其外今年ノ三月ヲ以テマシテ、臨時軍事費特別會計ハ之ヲ締切レルコトニ相成リマス、併ナガラ臨時軍事費特別會計ノ内デ、既ニ著手シタル仕事テ未ダ竣工致シマセヌモノガゴザイマス、其竣工致シマセヌモノハ歳入歳出共ニ一般會計ノ方ヘ合併致シマス、サウ云フコトノタメニ經費ノ増シマスモノガゴザイマス、コレ歳出ノ増加致シマシタノハ右ノ如キ譯デアリマシテ、何レモ已ムヲ得ヌ次第デアリマス、併ナガラ前年度ト唯數字ノミヲ比較致シマス、成程一般會計ノ方ノ數字ハ増シタニ違ヒナイケレドモ、其増シタ原因ハ諸般ノ整理カラ來タモノデアツテ、若シ臨時軍事費特別會計ト云フモノノ數字ヲ、一般會計ト合セテ比較シテ見レバ、勿論四十年度ノ方ガ頗ル減少ヲ致シテ居ルコト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、歳出ノ性質ガ著シク經濟的ニ改善ヲ致シテ居ル、前年度デ以テ御協贊ヲ仰ギマシタ費用ハ其經濟的ノ性質ニ

於キマシテハ、本年度ヨリ劣テ居ルト云フコトハ、軍事ノ有様已ムヲ得ヌ次第デアリマス、即チ本年度ハ著シク其點ニ於キマシテハ、改良ヲ歲出ノ性質ノ上ニ於テ見ルコトヲ得マシタ次第デアリマス、即チ歲計ノ大體ノ増減ハ、今述ベマシタ通テ、其詳細ナルコトニ付キマシテハ、既ニ御手許ニ迴テアル豫算書ニ就テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマスガ、尙一言茲ニ附加ヘテ置キマスガ、唯今述ベマシタノハ本豫算デアリマシテ、此外ニ關東總督府ノ經費、樺太民政廳ノ經費、是ハ何レモ特別會計法案ヲ提出致シマス考テ、其特別會計法ノ成立ノ上テ提出致シマス都合ニテ居リマス、又大學其他諸學校支出金ト云フモノハ、是ハ既ニ今日ノ日程ニ上テ居リマス法律案ニ依リマシテ、特別會計法ノ仕組ガ變リマス、ソレ故ニ是モ亦特別會計法ガ通過致シマシテカラ、豫算ヲ提出致シマス、左様ナ都合デアリ追加豫算トシテ提出致シマスモノガ、凡ソ八百餘萬圓程デアリマシタ、是ニ對シテハ、何レモ相當ノ財源ガ既ニ計畫シテゴザイマス、此八百餘萬圓ノ追加豫算ハ追テ提出致シマスノデスガ、御參考ノタメニ此際併セテ申上ゲテ置キマス、歲計ノ大體ハ右ノ如クデアリマスルガ、尙二三ノ關係ノ事項ヲ申述ベマスト、滿洲方面ニ對シマシテハ、南滿洲鐵道株式會社ノ設立ニ依リマシテ、鐵道炭山其他諸般ノ事業ハ專ラ同會社ヲシテ經營セシムルニコトナリマシタニ付キマシテハ、國庫ノ負擔トナルベキ經費ハ、此後最早澤山ハナイ積リデアリマス、詰リ租借地ニ置カレタ關東都督府ノ經費ガ國庫ノ經費ニ歸シマスガ、是ハ他日南滿洲鐵道會社ノ收益ガ増進致シヌレバ、都督府ノ經費ハ計算上ニ於テハ、收入支出相償ヲ見込デアリマス、尤モ御斷リヲ致シテ置キマスガ、其收益ハ一般會計ニ這入リマスカラ、單ニ特別會計ノ數字ノ上カラ平均スルト云フノデアリマセヌ、滿洲鐵道會社カラ上ガレタ收益ハ、一般會計ニ這入リ、一方特別會計ノ方デ支出ニナルコトナリマスケレドモ、一般會計ト特別會計トヲ通觀致シマス、將來其收支ハ相償ヲ譯デアリマス、ソレカラ韓國ノ方面ニ於キマシテハ、韓國ノ財政ハ著ク改良進歩致シテ居リマスノデ、差向キ統監府ノ經費、竝ニ韓國ニ於ケル鐵道ノ建設改良ニ要スル經費ノ外ハ、帝國政府ノ負擔ニ歸スベキ多大ノ費途ト云フモノハ、先ヅ差シ當リナイ積リデアリマス、又樺太ノ方面ニ於キマシテハ、是ハ餘リ多額ノ經費ヲ要サヌデ、其收入ヲ以テ略々支出ヲ償ヒ得ル見込デアリマス、唯四十年年度ニハ官舎ヲ建テルトカ云フヤウナ、營繕土木ノ費用ヲ多少國庫ガ補足シナケレバナラヌ勘定ニナリテ居リマス、ソレ故ニ滿洲、韓國、樺太ヲ通シテ、財政上ノ狀況ハ先ヅ満足ノ狀況ニナリテ居リマス、ソレカラ非常特別稅法ノ整理ニ付キマシテハ、其調査ハ頗ル進行シテ居リマス、サリナガラ未ダ成案ヲ具シテ、諸君ノ御協賛ヲ仰グト云フ場合迄ニハ立至ッテ居リマセヌ、ソレカラ此短期公債戰時中ニ募集シタ公債ノ借替ニ付キマシテハ、六分利付國庫債券二億圓ハ全部償還済ニナリマシタ、而シテ其他ノ分ニ付キマシテハ、昨今漸時計畫中ニ屬シテ居リマス、一般ノ歲入ノ狀況ヲ申述ベマスト、三十九年度ノ現在ニ於テハ、頗ル良好ノ成績ヲ示シテ居リマス、殊ニ三十九年度ノ外國貿易ノ有様ハ、當初少ナカラズ輸入超過ヲ見ルデアラウト、殆ト一般ニ豫期致サレテ居ッタ拘ラズ、非常ナル好結果ニ終リマシタ、即チ輸出ガ凡ソ四億二千餘萬圓、輸入ガ凡ソ四億千八百餘萬圓、總計八億四千二百萬圓ト云フ一般ノ貿易高ニナリテ、之ヲ前年ノ數字ニ比較シマス、輸出ニ於テ凡ソ一億圓ヲ増シ、輸入ニ於テ六千九百萬圓ヲ減シ、差引キ輸出ノ輸入ニ超過ス

ルコトガ四百八十餘萬圓ニナリマシタ、之ガタメニ一般ノ經濟界ハ活氣ヲ加ヘテ參リマシタ、從テ歲入ノ増加ヲ促シタヤウニ考ヘラレマス、之ヲ要シマスニ我國民ハ堅忍持久、戰爭ノ大困難ニ堪ヘタルノミナラズ、大イニ奮テ勤勉貯蓄ノ氣力ヲ發揮シ、郵便貯金其他一般ノ貯金ハ、實ニ未曾有ノ増進ヲ示シマシタ次第デ、又戰後ノ商工業ハ實ニ急激ノ進歩ヲ加ヘマシタ、平和後期年ナラズシテ貿易ノ趨勢ヲ一轉シ、誰モ輸入超過デアラウト信シテ居ッタノヲ、輸出超過ヲ示シ、之ガタメニ四十年年度ノ豫算計畫ニ一層ノ鞏固ヲ加フルニ至リマシタノハ、諸君ト共ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ、次第デアリマス、本大臣ハ諸君ノ慎重審議、速ニ協賛ヲ與ヘラレシコトヲ切ニ希望致シマス

○武藤金吉君 四百デアリマス、四千デアリマセヌカ

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 四百デアリマス

○議長(杉田定一君) 日程第一、事業公債條例中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——議案ノ朗讀

(書記朗讀)

事業公債條例中改正法律案

第一條中「一億七千五百萬圓」ヲ「一億八千五百萬圓」ニ改ム

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 事業公債條例ニ依リマス云フト、鐵道ノ改良、製鐵事業、或ハ電話ノ擴張ト云フヤウナモノ、タメニ、一億七千五百萬圓ダケノ公債ヲ募集スルコトガ出來ルト云フコトニナリテ居リマス、所ガ昨今迄ニ募集致シマシタ額ガ、一億五千六百餘萬圓デアリマス、尙三十九年度豫算ニ於テ事業公債ヲ募集スルモノガ、二千二百萬圓バカリゴザイマスノデ、之ヲ差引キマス、法律上ニ認メラレテ居ル高ハ、殘リガ六百八十萬圓シカ殘リテ居ナイコトナリマス、然ルトコロガ四十年年度ノ豫算ニハ成ルベク公債ヲ募集セヌコトニナリテ居リマスガ、只今申シマシタ鐵道ノ改良、製鐵事業、電話ノ擴張ノタメニハ、若干ノ公債ヲ募集スルコトニナリテ居リマシテ、丁度一千六百萬圓ノ公債募集ヲシナケレバナラヌコトニナリテ居リマス、デ凡ソ一千萬圓バカリノ公債募集ガ法律ノ認メテ居ルトコロデアラヌコトニナリマスカラ、既定ノ一億八千五百萬圓公債募集ガ出來ルヤウニスルノガ、此法律改正ノ趣意デアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 此委員ハ九名トシテ、議長指名ニ任センコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ發議ノ通り、九名ノ委員、議長ノ指名ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議無イト認メマス、其通り決シマシタ、日程第三北海道地方費法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀

第三 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

北海道地方費法中改正法律案

北海道地方費法中左ノ通改正ス

第四條中「營業ト爲ス者」ノ下ニ「及水産物ノ採取ニ關スル漁業權ヲ享有スル者」ヲ加フ

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(書記朗讀)

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣原敬君 諸君、此法律改正案ハ、御承知ノ通、極テ簡單ナ法律デアリマス、是ハ今日ノ北海道地方費法中ニ、水産稅ハ水産物ノ採取又ハ製造ヲ營業ト爲ス者ニ之ヲ賦課ストアリマスルガ、此水産物ノ採取又ハ製造ヲ爲ス者ガテハ權衡ヲ得マセヌ、何故ト云フノニ、此水産物ノ採取ニ關スル漁業權ヲ有テ居ル者ガ多數デアリマシテ、此漁業權ヲ有テ居ル者ハ、自ラ採取又ハ製造ヲ爲サシテ、人ヲシテ爲サシムル者ガ多イデアリマス、而シテ此自ラ採取又ハ製造ヲ爲ス者ノ外ハ、其權利ヲ以テ他人ニ之ヲ使用セシムル者ニ、稅ハ掛テ居リマセヌ、故ニ之ヲ改メマシテ、此漁業權ヲ有テ居テ、自ラ之ヲ使用セズシテ、他人ヲシテ採取、又ハ製造ニ從事セシムル者ニモ、賦課セシムルツモリデアリマス、斯クシテ稅ノ權衡ヲ得ヤウト云フニ過ギヌデアリマスルカラ、御審査ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第四ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ガ無イト認メマス、其通リ決シマシタ、日程第五、官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス議案ノ朗讀

第五 官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律 第一讀會

(書記朗讀)

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ル場合ニ於テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○恆松隆慶君 議案ヲ合セテ説明アラシコトヲ望ミマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 後ノ案ハチヨット物ガ變テ居リマスカラ、此案ダケノ説明ヲ致シマス、印刷局ガ各官廳カラ注文ヲ受ケマスコトガ、大變殖エマシテ、事業ガ非常ニ擴張致シマシタ、然ルニ唯今ノ運轉資本ハ僅ニ三十七万圓デアリマシテ、到底是デハ事業ノ經營ガ出來ネマスデアリマスカラ、運轉資本ヲ増スカ、サウデナケレバ、注文ヲ

スルトコロノ官廳カラ前金拂ヲスルト云フ、二ツノ一ツヲ擇ミマセヌケレバ仕事ガ出來ナイト云フコトナリマス、ソコデ政府ハ後ノ方法、即チ官廳ヲシテ前金拂ヲ爲サシムルト云フコトノ方法ヲ擇ミマシテ、茲ニ之ガ會計法ノ特例トシテ出來ルヤウナ、法律ヲ發案シタ次第デアリマス

○議長(杉田定一君) 日程第六、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 是モ九名ノ委員、議長指名ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、其通リ決シマシタ、日程第七、千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀

第七 千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案 第一讀會

(書記朗讀)

千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案

明治四十年度ニ於テ千住製絨所特別會計据置運轉資本金ニ金四拾萬圓ヲ増加ス

前項資本金ノ増加ハ臨時軍事費ヲ以テ購入シタル物品ニシテ製絨ノ原料ニ供シ得ヘキモノヲ特別會計ノ材料素品ニ組入レ其ノ價額ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 此改正案ハ誠ニ單簡ナモノデゴザイマシテ、唯今讀上ゲマシタ通リ趣意デゴザイマスノデ、資本金ガ唯今マデ六十萬圓アル、之ニ四十萬圓ヲ増加シテ百萬圓ニシマシテ、軍隊ニ支給シマスル羅紗ノ製造ヲ、圓滑ニシタイト云フデアリマス、ドウゾ御協贊ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 日程第八、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 是ハ前ノト所管ハ違ヒマスガ、却テ同一ノ委員ニ付託シタ方が便利ト思ヒマスデ、前ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、日程第五ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、其通リ決シマシタ、日程第九、帝國大學特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀

第九 帝國大學特別會計法案(政府提出) 第一讀會

(書記朗讀)

帝國大學特別會計法案

第一條 東京帝國大學及京都帝國大學ハ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金

ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ一切ノ歳出ニ充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 前條ノ政府支出金ハ東京帝國大學ニ在リテハ毎年度金百二十萬圓、京都帝國大學ニ在リテハ毎年度金百萬圓トシ一般會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第三條 各帝國大學ノ資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産並歳入殘餘ヨリ成ル

第四條 帝國大學ノ歳出ニ充ツル爲必要アルトキハ其ノ資金ヲ支消スルコトヲ得但シ用途指定ニ係ル資金ニ付テハ用途指定者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五條 政府ハ毎年各帝國大學ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 各帝國大學ノ豫算中ニハ會計法第七條ノ豫備費ヲ設クヘシ

第七條 帝國大學ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本及實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂フ爲スコトヲ得

第八條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九條 獎學ヲ目的トスル寄附金ハ帝國大學總長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

第十一條 帝國大學ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際各帝國大學ニ於テ從來資金トシテ所有スル動産不動産ハ總テ之ヲ資金ニ編入スヘシ

○文部大臣(牧野伸顯君) 本案ニ就キマシテ説明ヲ申上ゲテ、本案ハ先刻大藏大臣ヨリ特別會計ノ仕組ヲ改メ、帝國大學ノ特別會計ノ仕組ヲ改メト云フコトニ付イテ話サレマシタアリマスガ、即チ本案ガコレニ當ルノデアリマス、本案ノ趣意ハ從來帝國大學ハ、特別會計法ノ規定ニ依リマシテ、成立致シテ居タリマスガ、此度ハ其特別會計ノ精神ヲ一層擴張致シマシテ、新ニ茲ニ會計法ヲ定メヤト云フ次第デアリマス、此特別會計法ヲ改メマスル趣意ハ、一ツノ重ナル理由ニ依ルノデアリマス、第一ニハ毎年一定ノ金額ヲ定メマシテ、コレヲ以テ大學ノ政府支出金ニ充テタルデアリマス、從來大學ノ豫算ハ、毎年多少ノ變更ガアリマス、其定額ヲ定メ付イテハ、財政當局者ニ於テ、種々手數ヲ要セラレタリマス、大學ノ如キハ他ノ行政官廳ノ費用トハ少シ違ヒマシテ、學問日進ノ際ニ於キマシテハ、時々多少ノ新シイ費途ヲ要シマシテ、コレガタメニ年々歳々要求スルコロノ金額モ改メタリマス、然レモ今日ノ場合ニ於キマシテハ、大學ノ基礎ガ略々定マリマシテ、今日ニ於テハ之ヲ一定シテモ差支ナイト云フ時運ニ際會シタリマス、コレハ財政ノ當局者ニ於テハ、餘程便宜トセラレトコロデアアルノデアリマシテ、又大學ニ於キマシテモ、此定額ガ一定致シマスルカタメニ便利ト考ヘマスルノハ、此百二十萬圓、百萬圓ト云フ二ツノ額ヲ定メマシタリマス、從來ノ經常臨

時ノ費用ヲ併セテ計上致シタリマシテ、此年々ノ政府支出金ガ定マリマシタメニ、大學ニ於キマシテハ、數年ノ後ヲ考ヘマシテ、計畫ヲ定メタルコトガ出來ルノデアリマス、コレハ少ナカラズ大學ノ經營上ノ便宜ト致スノデアリマス、即チ大學ノ基礎ハ稍々今日定マリマシテ、之ヲ一定致シテ、其金額ヲ法律ヲ定メテモ差支ガナイト云フ時運ニ際會致シタリマス、勿論學問ハ時々進歩致シマス、從テ費用モ多少増加ヲ要スルコト云フコトハアリマス、ケレドモ其費用ニ充テマスタメニハ、是マデモ御承知ノ通他ノ收入ト云フモノガ大學ニハアルノデアリマシテ、即チ此法案ニモアリマス、通、授業料、病院ノ收入、其他雜收入ト云フモノガアリマス、是等ヲ經營致シテ、増收ノ計畫ヲ計ル餘地ガマダ十分アルト當局者ハ考ヘテ居リマス、今後入用ト致シマスル大學ノ經費ノ増加ハ、其財源ヲ以テ之ニ充テ、十分立行クコトガ出來ルコト云フ見込デアリマス、斯ク金額ヲ定メマスニ付イテハ、大學ノ豫算ノ編成式ヲ多少改メマス見込デアリマス、一般會計ノ項目ノ編成トハ趣テ改メマシテ、項目ヲ少ナク致シマシテ、多少流用ノ利クト云フ餘地ヲ得ヘル目的デアリマス、一方ニ於テ金額ヲ一定致シマス代リニ、其範圍内ニ於テハ項目彼我ノ間ニ流用ヲ許スト云フ便宜ヲ定メル必要ガアルノデアリマス、斯ク多少經費ノ自由ヲ許スニ付キマシテハ、一方ニ於キマシテハ、監督ト云フコトヲ嚴重ニスルト云フ必要ガ從テ生ジマス、政府ニ於キマシテハ、此經理委員會ト云フガ如キ機關ヲ設ケマシテ、其豫算ノ歳入歳出、豫算ノ編成等ノ事ヲ、此監督官ヲ以テ監督ヲ致ス積リデアリマス、此法案ガ幸ヒ御協賛ヲ得マシタ曉ニハ、追加豫算トシテ、此兩大學ノ特別資金ヲ要求スル手續ニナリマス

○議長(杉田定一君) 日程第十、右議案ノ審查ヲ附托スベキ委員ノ選舉

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ十八名ノ委員ヲ、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、十八名ノ委員ヲ議長指名ニ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、其通リ決シマシタ、日程第十一、學校及圖書館特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス——議案ノ朗讀

第十一 學校及圖書館特別會計法案(政府提出) 第一讀會

(書記朗讀)

學校及圖書館特別會計法案

學校及圖書館特別會計法

第一條 文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テシム

第二條 前條ノ政府支出金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第三條 學校及圖書館資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産並歳入殘餘ヨリ成ル

第四條 資金ハ之ヲ支消スルコトヲ得但シ用途ヲ指定シタル資金ハ用途指定者ノ同意ヲ得テ元金ヲ使用スルコトヲ得

時ノ費用ヲ併セテ計上致シタリマシテ、此年々ノ政府支出金ガ定マリマシタメニ、大學ニ於キマシテハ、數年ノ後ヲ考ヘマシテ、計畫ヲ定メタルコトガ出來ルノデアリマス、コレハ少ナカラズ大學ノ經營上ノ便宜ト致スノデアリマス、即チ大學ノ基礎ハ稍々今日定マリマシテ、之ヲ一定致シテ、其金額ヲ法律ヲ定メテモ差支ガナイト云フ時運ニ際會致シタリマス、勿論學問ハ時々進歩致シマス、從テ費用モ多少増加ヲ要スルコト云フコトハアリマス、ケレドモ其費用ニ充テマスタメニハ、是マデモ御承知ノ通他ノ收入ト云フモノガ大學ニハアルノデアリマシテ、即チ此法案ニモアリマス、通、授業料、病院ノ收入、其他雜收入ト云フモノガアリマス、是等ヲ經營致シテ、増收ノ計畫ヲ計ル餘地ガマダ十分アルト當局者ハ考ヘテ居リマス、今後入用ト致シマスル大學ノ經費ノ増加ハ、其財源ヲ以テ之ニ充テ、十分立行クコトガ出來ルコト云フ見込デアリマス、斯ク金額ヲ定メマスニ付イテハ、大學ノ豫算ノ編成式ヲ多少改メマス見込デアリマス、一般會計ノ項目ノ編成トハ趣テ改メマシテ、項目ヲ少ナク致シマシテ、多少流用ノ利クト云フ餘地ヲ得ヘル目的デアリマス、一方ニ於テ金額ヲ一定致シマス代リニ、其範圍内ニ於テハ項目彼我ノ間ニ流用ヲ許スト云フ便宜ヲ定メル必要ガアルノデアリマス、斯ク多少經費ノ自由ヲ許スニ付キマシテハ、一方ニ於キマシテハ、監督ト云フコトヲ嚴重ニスルト云フ必要ガ從テ生ジマス、政府ニ於キマシテハ、此經理委員會ト云フガ如キ機關ヲ設ケマシテ、其豫算ノ歳入歳出、豫算ノ編成等ノ事ヲ、此監督官ヲ以テ監督ヲ致ス積リデアリマス、此法案ガ幸ヒ御協賛ヲ得マシタ曉ニハ、追加豫算トシテ、此兩大學ノ特別資金ヲ要求スル手續ニナリマス

○議長(杉田定一君) 日程第十、右議案ノ審查ヲ附托スベキ委員ノ選舉

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ十八名ノ委員ヲ、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、十八名ノ委員ヲ議長指名ニ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、其通リ決シマシタ、日程第十一、學校及圖書館特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス——議案ノ朗讀

第五條 教員事務員ノ俸給、諸給、旅費、器具機械圖書標本費、授業費、試験費、生徒ニ關スル諸費、事務所費、修繕費、雜支出其ノ他寄附者ノ指定シタル費途ヲ以テ學校及圖書館特別會計ノ歲出トス

第六條 政府ハ毎年學校及圖書館特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 學校及圖書館ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本及實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第八條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九條 獎學ヲ目的トスル寄附金ハ之ヲ其ノ學校ニ交付シ學校長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

第十一條 學校及圖書館特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

官立學校及圖書館會計法ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際各學校及圖書館ニ於テ從來資金トシテ所有スル動產不動產ハ總テ學校及圖書館資金ニ之ヲ編入スヘシ

(文部大臣牧野伸顯君登壇)

○文部大臣(牧野伸顯君) 此法案ハ至ッテ簡單ナモノデゴザイマス、文部省直轄學校及帝國圖書館ハ、ヤハリ一般特別會計法ノ規定ニ基キマシテ、各直轄學校圖書館總テ二十餘ノ學校ニナリマス、ツレガ、皆御承知ノ通り、其三十幾ツノ學校ガ、皆特別會計ヲ一々組立デラレテ居リマシテ、此豫算ニ請求スル場合ニ於キマシテモ、別箇ノ特別會計ヲ以テ請求シテ居ル次第アリマシテ、是ハ行政上ノ手數ニ至リマシテモ少ナカラヌコトデゴザイマシテ、又帝國議會ニ提出致シマシタ曉ニ、同ヱク其三十有餘ノ特別會計ニ付イテ、御審議ヲ煩ハスト云フヤウナ次第アリマシテ、即チ手數ニ於キマシテ甚ダ煩雜ナ譯デアリマス、其學校ノ中ニハ至ッテ小サナ經濟ノモノガアリマス、例ヘバ音樂學校トカ、盲啞學校トカノ如キ、僅少ノ金額ヲ以テ一ノ特別會計ヲ構成シテ居ルト云フヤウナ次第デ、ツレ等ノ煩雜ヲ避ケマスメニ、此三十有餘ノ各特別會計ヲ一箇ノ特別會計ト致シテ、將來豫算ノ編成ヲ圖ル趣意デゴザイマス

○議長(杉田定一君) 日程第十二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 前ノ十八名ノ委員ニ付託スルモノト致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通、即チ日程第九ノ十八名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマス——日程第十三、韓國森林特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀……

第十三 韓國森林特別會計法案(政府提出) 第一讀會

(書記朗讀)

韓國森林特別會計法案

韓國森林特別會計法

第一條 鴨綠江及豆滿江沿岸森林ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ事業上ノ收入ヲ以テ其ノ支出ニ充テシム

第二條 韓國森林特別會計ノ資本額ハ百二十萬圓トシ其ノ半額ハ韓國政府ノ分擔金ヲ以テ之ニ充ツ

前項資本金ハ必要ニ應シ漸次一般會計ヨリ繰入シ又ハ韓國政府ヨリ受入シム但シ事業用物件ヲ以テ出資額ニ充ツルコトヲ得

第三條 毎年度事業上ノ損益ハ前條出資額ニ應シ之ヲ一般會計及韓國政府ニ分配ス

第四條 政府ハ毎年韓國森林特別會計歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第五條 毎年度ノ豫算ニハ災害事變其ノ他豫期セサル歲出ノ不足ニ應スル爲豫備費ヲ設クヘシ

第六條 本會計ノ事業ハ事宜ニ依リ森林經營ヲ目的トスル會社ニ委託シテ之ヲ經營スルコトヲ得

第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大藏大臣阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ、諸君御承知ノ通り、日韓兩國政府ノ間ニ鴨綠江ノ森林、豆滿江ノ森林ヲ協同經營ニスルト云フ協約ガ成立致シマシタ、其經營ニ付キマシテハ、資本金ハ兩國政府カラ半々ニ出シ、損益ハ分擔スルト云フコトナリマシタノデ、是ハ一般會計ノ經理ニハ屬シ兼ネマス、即チ斯ノ如キ特殊ノ會計法ヲ設ケタイト云フ趣意デゴザイマス

○議長(杉田定一君) 日程第十四、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 十八名ノ委員、議長指名ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通、十八名ノ委員議長指名ニ御異議ハゴザリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス——日程第十五韓
國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案朗讀

第十五 (政府提出)
韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案 第一讀會

(書記朗讀)

韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案
韓國鐵道ノ收益勘定ニ於ケル缺損ハ一般會計ヨリ之ヲ補充ス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 韓國ノ鐵道ハ至極有望デハゴザイマス、併ナガラ
今ノ京義線ノ所ノ如キハ、マダ線路ノ改善ヲシテ居ルト云フヤウナコトデゴザイマス、
又馬山線ノヤウナ方面デハ幾ラカ收入ガ少ナイト云フヤウナコトデ、此所四五年ノ間ニ
ハ或ハ此損益勘定ニ於テ損失ガ現ハレヌトモ限リマセヌ、斯ノ如キ場合ニハ、一般會計
カラ其補充ヲ致シテ、營業ニハ差支ナクスト云フコトガ必要デアリマス、ソレデ本案
ヲ提出致シテ次第ゴザイマス、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 日程第十六、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 九名ノ委員、議長指名ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマ
セヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

豫算委員長 栗原 亮一君 同理事 森本 駿君

同理事 松田 吉三郎君 同理事 大戸 復三郎君

同理事 森田 卓爾君 同理事 大熊 三之助君

決算委員長 谷澤 龍藏君 同理事 江藤 哲藏君

同理事 福島 宜三君 同理事 江藤 哲藏君

同理事 水暮 武太夫君 同理事 森 肇君

同理事 橫井 時雄君 同理事 古賀 庸藏君

同理事 松浦 五兵衛君 同理事 小 河 源 一君

同理事 青地 雄太郎君 同理事 小 河 源 一君

同理事 福井 三郎君 同理事 小 河 源 一君

委員ヲ指名スル左ノ如シ

一事業公債中改正法律案

藤 金 作君 蘆田 鹿之助君 前島 元助君

遠藤 庸 治君 西村 眞太郎君 根津 嘉一郎君

一 服部 小十郎君 濱田 國松君 金子 元三郎君

一 北海道地方費中改正法律案 天野 藤三君 島海 哲四郎君 森 茂 生君

山村 豐次郎君 平島 松尾君 高橋 金治君

小山田 信藏君 奧村 善右衛門君 松井 源内君

一 官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル件外一件 中村 雄藏君 辻 寬君 齋藤 和平太君

美福 龍彦君 菅澤 重雄君 井上 精一郎君

星野 長太郎君 內貴 甚三郎君 高橋 勝七君

一 帝國大學特別會計法案外一件 江原 素六君 中林 友信君 瀧口 吉良君

阿部 德三郎君 松本 君平君 丸山 嵯峨一郎君

柚木 慶二君 鳩山 和夫君 關 直 彦君

合田 福太郎君 進藤 喜平太君 淺見 竹太郎君

牧野 逸馬君 安達 謙藏君 福留 清四郎君

富崎 暢夫君 關口 安太郎君 川真田 德三郎君

一 韓國森林特別會計法案 山本 幸彦君 河原 茂輔君 安藤 新太郎君

河原林 義雄君 大井 卜新君 上 埜 安太郎君

遠藤 良吉君 永島 龜代司君 降旗 元太郎君

田寺 敬信君 大津 淳一郎君 山口 達太郎君

矢島 中君 竹内 正志君 淺 羽 靖君

紫垣 一雄君 板倉 中君 神藤 才一君

一 韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案 江原 節君 牧野 元君 竹田 千代足君

武内 美代吉君 守屋 此助君 松本 長平君

淺野 順平君 佐藤 里治君 藻寄 鉄五郎君

○議長(杉田定一君) 次會ノ日程ハ、追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニ
テ散會致シマス

午後二時二十一分散會

衆議院速記第二號正誤

頁 段 行 誤 正

五 上 七 股ス 「三點島田三郎君」ノ七字ヲ